

天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



心のつながりはあいさつから

5月18日(火)相生地区民生委員の皆さんによる校門でのあいさつ運動がありました。民生委員さんの声かけに元気にあいさつを返す子どもたち。遠くの方から大きな声で「おはようございます」とあいさつしてくれる子もいます。



マスクに隠れて、せっかくの笑顔が見えませんが、元気の良い朝のあいさつは気持ちよいです。何か良いことが起こりそうな元気が湧いてきますね。

児童玄関の前では、あいさつ運動の手作りプラカードを掲げた代表委員たちが、登校してくる子どもたち一人一人に「おはようございます」と声をかけていました。

天沼小学校は、登校の時だけでなく、日中も廊下ですれ違うときに「こんにちは」と気持ちの良いあいさつの声が響いています。学校の外、街の中でもあいさつが飛び交う相生地区であって欲しいと思います。

どんぐりさんの読み聞かせがありました



読み聞かせボランティア「どんぐり」さんによる大型絵本読み聞かせがありました。この日は1年生の教室。1組は『からのすのパン屋さん』、2組は『すてきな三にんぐみ』。どちらも名作です。良いお話は何度聞いてもいいものです。文学に触れ、お話に浸る時間はとても大切です。

1年生

無事校外学習に行ってきました

5月14日(金)晴天の暑い日でしたが、1年生の47人全員、春の遠足に行ってきました。行き先はみどり市の岩宿遺跡博物館ちびっこ広場。



新型コロナ対策のために博物館は休館となっていましたが、広い芝生広場で思い切り体を動かし、大木の下で手作りのお弁当に舌鼓を打ち、午後はちびっ子広場の遊具でこれまた思い切り遊んできました。

道路の安全な歩き方も立派で、行きも帰りも、予定より早く到着することができました。楽しい一日を過ごしました。

何よりも熱中症などで体調を崩すこともなく、無事であったことが嬉しいです。日頃の体調管理、朝早くからのお弁当作りと、保護者の皆様のご協力に感謝します。

